

## 産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和3年7月14日（水）午後1時0分
- 2 閉会日時 令和3年7月14日（水）午後1時43分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
2番 鼻岡 美保君                      7番 佐々木雄司君                      11番 治徳 義明君  
13番 金谷 文則君                      16番 佐藤 武文君                      18番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
産業振興部長 是松 誠君                      建設事業部長 高橋 渉君  
産業振興部政策監  
兼建設事業部政策監 中山 教浩君                      建設事業部参与兼  
地域整備推進室長 小坂 憲広君  
農林課長 矢部 勉君                      商工観光課長 大崎 文裕君  
建設課長 福圓 章浩君                      上下水道課長 中務 浩行君  
赤坂支所  
産業建設課長 石井 徹君                      熊山支所  
産業建設課長 砂子 武久君  
吉井支所  
産業建設課長 岡田 浩司君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 元宗 昭二君                      副 参 事 野田 順子君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について  
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午後1時0分 開会

○委員長（金谷文則君） それでは、ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

午前中の視察は大変御苦労さまでございました。結構有意義な視察ではなかったかなあと思っています。執行部の皆さん、大変お世話いただいてありがとうございます。今後ともよろしくお願いをいたします。

それでは、協議事項1番目、事業の進捗状況について、産業振興部から説明をお願いいたします。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） 協議の事業進捗の前に、私のほうから先週の大雨につきまして、少し皆様に情報提供といいますか、御報告をさせていただきたいと思っております。

先週の大雨なんですけど、まず雨の降り方なんですけど、24時間の降水量、よく使う数字なんですけど、24時間の降水量で、西軽部で127ミリほど降っております。この数字っていうのが、ちょうど先週の大雨、山陰のほうかなり大雨が強かったと思っておりますが、山陰のほう300ミリちょっとぐらい降ってましたので、それに比べると半分以下ぐらいだったというようなことになっております。降り方として、吉井のあたりが少し少なくて、さらにそこからまた上の県北では強い雨でしたが、吉井あたりが少し薄くて、このまた山陽、赤坂のほう、今の割と強い雨が降ったと、そういう形の雨でございます。それから、時間の最大雨量、これもよく使う数字なんですけど、こちらが一番多いところを見ると27ミリぐらい、一般に強い雨と呼ばれるぐらいな雨が、こちらが岡で降っております。

この雨によりまして、被害状況のほうなんですけど、惣分のほうで、田んぼののりが10メートルぐらいにわたりまして、ちょうど高さが2、3メートルぐらいちょっと滑ったというところが1か所ございます。その他、農業用の施設等について5か所程度、それから公共土木のほうについて、こちら10か所程度ぐらい路肩が崩落したりですとか、吸い出しで道路が少しへこんだところが出たとかといったところが十数か所ということになっております。それから、多賀に大規模なソーラーがございます。ここのソーラーのところの一番下に調整池があるんですけど、その調整池の少し上側ののり面のところ、そこが水が集中したことでのりが少し崩壊したというところで、その崩壊した土砂を持った水、濁流が、一番近郷の、耕作されてない田んぼだったんですけども、そこの田んぼの1枚に入って、それはすぐ撤去させていただいたというようなことが発生しております。

私のほうからは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 続きまして、産業振興部の関係でございますが、農作物あるいは観光施設等の被害は今のところ確認されておりませんので、御報告させていただきます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

そのことについて質問か何かありますか。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 2点お尋ねをしたいと思います。

まず、先般、問題になってるのかなってないのか分かりませんが、よく出てまいります、新しい岡山県のハザードマップ、これでどのぐらいの程度の水量というのを想定されていらっしゃるかどうかというのが、もし今資料で手元にお持ちでしたらお示しいただきたいと思います。あと、多賀のお話なんですけども、それって小規模な土石流になるんですかね。崖、のり面が崩れて、田んぼに流れ込んだっていうのは、形態的には土石流というようなことをイメージしてしまうんですけども、そういうふうに、規模の大小はあるとしても、呼んで差し支えないものなのかどうか、教えていただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いします。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） まず、1点目のハザードマップ、最近最大浸水深ということで、ハザードマップの見直しが図られておりますが、これについては相当な、これまで河川の計画規模の水量に対するハザードマップだったのが、今度は想定し得る最大のということで、かなり水位が上がるということになっております。それで、それに対して、今、もう既にハザードマップ自体出ておりますけども、当然今回の雨は、もうそれに比べたら全然規模が小さい規模ですので、いわゆる計画規模にすら届いていないようなものですので、当然ながら越水等もしていないというぐらいな今回の大雨の程度だったというふうに考えております。

それから、多賀の土石流、ちょうどいろいろ熱海の話等々もございまして。今回の分は、盛土、人工的に盛った上のところ、ちょうどそこに、大きな広い面積にパネルが置いてあるんですが、そこに網の目のように水路を設けているところは、最終的にその盛土の上に集まるようになってるんですけども、そこが飲み込み切れなくて、上に吐き出されてしまって、のり面に水が走って、そこがずったということですので、そういう意味では、今後そこをこれから市も交えて、その1か所に集中しての越水みたいなのがないように対策はしていこうと思うんですが、土石流かということ、今の人工物のそういう水が処理仕切れなかったということで起きたものですので、ちょっと土石流とは違うというふうに思っております。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

○委員（佐々木雄司君） 結構です。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） 多賀のところは今回だけじゃないですよ。

○建設事業部長（高橋 渉君） はい。

○委員長（金谷文則君） もうずっと出てきて、地山との境目のところに、縦にU字溝のような排水を設けてあって、前年去年のときは相当あそこが崩れて、その後しっかりお願いしますということ言ってあったにもかかわらず、また同じことが起きてると。下流域に家が、直接下のほうには2軒、3軒と、右側のお墓の向こうがあるんですけど、やっぱりあそこが今回だけっていうのなら分かるんだけど、前回からずっと崩れて、一番最初に造成するときもあそこが相当崩れたというところで、完全な谷ですよ、あそこは。ほれで、もう完全な盛土で、あの上に最初の調整池が、もう1つ大きな調整池があって、みんなが視察に行ったところで。やっぱりちょっと悠長過ぎるんじゃないですか。

○建設事業部長（高橋 渉君） よろしいですか。

○委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） どうしてもかなり大きな面積、ああいう形でむき出しになってますんで、水が集中するっていうのは、当然それは分かった上で計画を立てているわけですけども。おっしゃられる前回のところについても、あふれたところについては、蓋をしたりして対策したというふうには聞いておるんですが、結局またそこはうまくいったけど、そこを越えた、今度、水がまた集中してまた出たっていう、そういう少し追っかけっこみたいになっています。ですんで、少し今の単純に蓋をして、そこだけ防ぐとかというところではなくて、もうちょっと根本的に、せっかく下に大きな池がありますんで、そこに導いてやればそういうことは生じませんので、そのあたり市役所のほうも、業者と直接どういう計画にするんかというのを話をして、今回は対応したいと思っています。

○委員長（金谷文則君） そうですね。それと、家の周りにほんと最初来たときは、もう周りの田んぼから何から全部つかって、砂が来て大変だった。この間も、毎日新聞ですかね、あれが取材したのが載ってたと思うんですけど、やっぱり大きな問題、全国的な問題の中の1つだろうと思いますので、ぜひ十分協議をしていただいて、次にまた起きないように、秋が大変また心配かもしれないので、台風シーズンよろしくお願ひしたいと思います。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） では、次に行かせていただきます。

それでは、進捗状況について、よろしくお願ひします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） それでは、事業の進捗につきまして、農林課、商工観光課、それぞれ担当課長より御説明申し上げます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 産業振興部資料の1ページを御覧ください。

資料横向きになります。これは、四半期で御報告しております工事や委託の事業で250万円以上の規模のものでございますけれども、農林課分としましては、農業振興地域整備計画見直し業務につきまして、7月2日に業者が決定しとります。株式会社ウエスコ岡山支社と契約を締結しまして、業務に着手したところでございます。

農林課は以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 続いてお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 続きまして、商工観光課より、事業の進捗状況について御説明をさせていただきます。

産業建設常任委員会資料の4ページをお願いいたします。

(1)がんばろう赤磐経済対策キャッシュレス決済推進事業実績につきましては、先月の委員会で一部実績につきまして御報告をさせていただいたところです。

5ページ目、6ページ目を御覧ください。

キャンペーン前後の比較の表を掲載しております。5ページ、上段では、取引額を示しております。キャンペーン前後の比較といたしましては、約14倍の取引額となっております。次に、5ページ、下段、ユーザー数につきましては約3.5倍、1人当たりの利用回数につきましては約2倍に増加しております。

続きまして、6ページのほうをお願いします。

地域別の利用者につきましては市内で約2.4倍、市外につきましては約3.8倍の利用者がございました。なお、市内、市外の利用者の割合でございますが、市内が約3割、市外が約7割というような状況になっております。今回のキャンペーンで約6万人の方が御利用されておりますので、単純計算で、市内の利用者数は約6万人の3割で1万8,000人、市内の15歳以上の人口約3万5,000人で比較しますと約51%になります。人口の半分の方が御利用があった計算ということになります。また、今回のキャンペーン登録事業者全ての業種でキャッシュレス決済の利用者が増加しております。特に60歳以上の方の御利用は、キャンペーン前後で2倍以上に増加しておりました。今後も、キャッシュレス化の推進を図ると同時に、市内事業者さんに対して必要な経済対策を行っていききたいというふうに考えております。

続きまして、(2)商工観光課所管事業につきましては、7ページ、すいません、横になりま

すが、商工観光課所管の建設工事などの事業に係る案件で、例年どおり事業費1件250万円以上を一覧表にしております。なお、山陽産業会館空調設備改修工事に係る設計業務につきましては、5月27日に入札を行いまして、株式会社建築倶楽部が落札し、現在設計中でございます。完成次第入札手続に入りたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上で説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、取りあえず産業振興部のほうで質疑がございましたらお受けしたいと思います。

いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようですので、次に移ります。

それでは、建設事業部より説明をお願いいたします。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） それでは、建設事業部のほうから、各課から事業の進捗について御説明させていただきます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課の1、事業の進捗について説明させていただきます。

建設事業部の資料1ページからをお願いいたします。

1ページには、令和2年度から令和3年度へ繰越した建設課主要事業の一覧を載せております。

農地費関係の2の1、2の2の日古木大池に係る業務につきましては、日古木大池の底樋が破損しており、その修繕工事を行うための地質調査、詳細設計を行うもので、地質調査については既に完了しております。現在、工法決定などの詳細設計を行っているところでございます。

続きまして、2ページから4ページに、令和3年度の建設課主要事業の一覧を載せております。それぞれ概要、事業費、発注時期などを記載しておりますので、御確認いただきますようお願いいたします。

2ページにあります、一番上、ため池ハザードマップ作成業務につきましては、市内にある防災重点農業用ため池が決壊のおそれが生じた場合に、迅速かつ安全に避難できるようハザードマップを作成するもので、令和3年度は24池で作成する予定としております。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） 続いてお願いいたします。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） それでは続きまして、上下水道課から事業の進捗状況について御説明いたします。

先ほどの建設事業部資料の5ページをお開きください。

こちらが令和2年度から令和3年度に繰越ししました上下水道課の主要事業でございます。上段が水道事業、中段からが下水道事業でございます。繰越し事業につきましては、全て発注済みでございます。全ての工事、順次完成に向けまして工事、また業務を進めておるところでございます。

続きまして、6ページをお開きください。

こちらは、令和3年度、現年度の主要事業の一覧でございます。先ほどと同様、上段が水道事業、中段から下が下水道事業となっております。水道、下水道とも順次発注を行っておるところで、7月1日現在の進捗率につきましては、一覧表のとおりとなっております。水道、下水道ともに未発注の案件につきましても、現在発注準備を行っておるところでございます。

以上で上下水道課からの事業進捗状況につきまして説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） 続いてお願いいたします。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小坂地域整備推進室長。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（小坂憲広君） 続きまして、地域整備推進室の事業の進捗状況ということで説明をさせていただきます。

建設事業部資料1ページになります。

令和2年度からの繰越し事業としまして、一番下にあります、立地適正化計画に係る業務ということでここに繰越しがあります。こちらのほうですが、7月31日完成予定ということで、予定どおり進めております。

続きまして、令和3年度予算についてですが、資料4ページをお願いいたします。

こちらのほうの一番下になります、令和3年度赤磐市立地適正化計画に係る資料作成等業務、こちらのほうでございます。立地適正化計画策定に係る資料策定等の業務になってまいります。こちらのほうが、7月下旬入札予定ということで業務のほうを進めております。

地域整備推進室からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございました。

それでは、建設事業部に対しての進捗状況について、質疑等ございましたらお願いをいたします。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） ため池ハザードマップの作成業務なんですけど、24池をこれから設計といたしますか、今年度入っていただくということなんだろうなあというふうに思いますが、これ今後の話なんですけども、ため池関係の取組状況というものが24池出てきましたと、これを例えば出てきたから、じゃあ、さあ来年24全部一気にやりましょうといっても、ほかの事業との兼ね合いもあって、24絶対いかないと思うんですよね。ということになったら、今回策定したものの仕分というか、優先順位をつけていかなきゃいけないと思うんですが、その基準っていうのはどんな基準になりそうですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今回作成するハザードマップの目的ですけれども、ため池が決壊するおそれが生じた場合に、迅速かつ安全に避難するための参考資料とするために作成をするものであります。

なので、直接的にため池の危険度とかそういうものをここに示すものではございませんので、それはまた別の話となると思います。

以上です。

○委員（佐々木雄司君） 分かりました。ありがとうございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

○委員（佐々木雄司君） 僕の勘違いでした。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようですので、質疑をこれで終了いたします。

それでは続きまして、協議事項2番目、その他に入ります。

その他で、委員さんまたは執行部から何かございましたら発言をお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部資料の2ページを御覧ください。

2のその他でございます。(1)新規就農者等の就農状況でございますけれども、①の就農相談につきまして、令和2年度中におきまして、延べ60人から相談を受けております。これは、前年度ですと、前年度はたしか延べ80人ぐらいいたんですけれど、やはりこれは例のコロナウイルスの影響を受けたものでございますけれども、相談を受けたものでは、作物ではやはり果樹を目指す方が多いという傾向でございます。

それから、②の表を御覧ください。



2年度中におきましては、5名の方が新規就農をされておられます。市の総合計画におきまして、新規就農者数の目標を、平成30年度末から令和6年度までで40人増の目標としておりますところ、現在77人となっております。また、現在、赤磐市内の認定農業者数は100人、それから認定新規就農者数は12人でございます。

次に、農地中間管理事業によります農地の利用集積状況でございますけれども、(2)を御覧ください。年度ごとに集積が進んでおります貸付けの面積をお示ししております、令和2年度までで累計120.6ヘクタールの貸付けが行われております。

それから、3ページを御覧ください。

(3)の農作物、水稲と果樹ですけれども、年度別生産等の実績になります。直近4年間の実績を掲載しておりますけれども、水稲では、昨年との比較で農家数や作付面積は横ばい状態の傾向でございますけれども、販売額が多少伸びている傾向です。それから、今年度におきましては、コロナウイルス感染症の影響もありまして、販売額に影響が出る可能性が少々懸念されております。

それから、果樹におきましては、まずブドウの販売額と単価が上向いておりますのは、皆さんよく御存じのとおり、シャインマスカットの栽培の増加によるものと考えられます。それから、桃につきましては、栽培面積を見ますと横ばいの状況と考えておりますが、今年度の栽培状況につきましては、遅霜の影響による被害が一部品種で見受けられておまして、それら今後も注視してまいります。今後、果樹栽培におきまして、販売額を上向けるためには、質のよいものの収量を増やしていくことが必要と考えており、新規就農や規模拡大に向けて優良な農地を確保するための施策を実施してまいりたいと考えております。

本日、委員の皆様は是里まで視察に行ってくださいましたけれども、具体的には、あの中で幾らかお話しさせていただいたような事業ができたらなあ、我々考えております。それとあと、新規就農の方も、ああいうふうにも木の伐根とかそういった作業も真面目に取り組んであのような形にされる方、そういうちゃんと気概のある方を就農者として迎え入れたいと考えておりますので、今後とも、こちらにももちろん御報告はいたしますけれども、人間的にもそういう方をやっぱりどんどん迎え入れたいと赤磐市は考えておりますので、今後ともよろしく御願いたします。

農林課からは以上でございます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、商工観光課より、2、その他につきまして御説明いたします。

委員会資料の4ページのほうをお願いします。

(1)岡山デスティネーションプレキャンペーンにつきましては、令和3年7月1日から令和

3年9月30日までの間に開催されるものでございまして、事業主体は岡山デスティネーションキャンペーン推進協議会で、岡山県を中心とした関係自治体、それから地元観光業者、JRグループ6社が一体となりまして、広域的な観光誘客宣伝を展開し、全国から岡山県へ誘客を図る大型観光キャンペーンの先行キャンペーンでございます。本番の岡山デスティネーションキャンペーンにつきましては、令和4年7月から9月、アフターキャンペーンにつきましては、令和5年7月から9月で行われる予定となっております。なお、コロナウイルス感染症の状況によりましては、企画でありましたり、開催中のイベントなど、中止や延期の場合がありますので御注意ください。

最後のページ、8ページのほうに、プレキャンペーンのチラシを添付しておりますので、御確認いただけたらと思います。

以上で説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、今の説明に対して何か質疑等ございますか。

よろしいでしょうか。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 農林にお尋ねするんですが、新規就農者の状況というところで御説明くださったんですけども、結局この御説明いただいたものがよかったのか悪かったのかっていうのがちょっと分かりづらかったんで、かいつまんでこの数字がいいのか悪いのかということと、農地の利用集積の状況も同じなんです、結局120ヘクタールというものが、結果としていいものなのか悪いものなのか、その点をちょっとかいつまんで教えていただけますでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの佐々木委員の御質問に対するお答えでございます。

これは、新規就農者数67人が77人ということになっておりまして、10人増ということで、単年度の伸びとして見るならば、目標は達成していけるのかなあと。ただ、数字を追うだけではないので、やっぱり内容を伴っていかなきゃいけない。市として今考えておりますのは、これ順調に、今、推移していると考えております。

それから、もう1つ、農地の利用集積の状況でございます。これ実は、毎年やはり事業の内容と申しますか、圃場整備等のカウントもされるんですけども、凸凹するところがあります。ですが、令和2年度を見ますと、例えば津崎区が15ヘクタールを超える圃場整備を行いました。この中間管理事業を使うと、こちらの委員会でも御説明いたしましたけども、交付金がもらえます、地元。そういった有利なことも地元働きまして、数字的にもやはりよく伸び

ているなあと、我々は思っております。もちろん、県下で1番とかそういうわけではないですけども、結構な集積になってると思いますので、よろしく願います。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、産業振興部を終わって、次に建設事業部のほうのその他をお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課の2、その他について説明をいたします。

建設事業部資料の表紙にあります、道路への落木が起因する物損事故報告についてとなります。

発生日時は、令和3年6月14日月曜日19時頃、場所は赤磐市正崎地内の市道上市二井線、相手は赤磐市、女性となっております。事故状況につきましては、市道を走行中、道路への枝の落下に気づかず通過し、乗用車の前面を破損しております。現在、原因、過失割合などを調査しております。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） 続いて願います。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） 続きまして、上下水道課から、その他の案件についてお知らせをいたします。

建設事業部資料の表紙の中段でございます。

赤磐市職員排水ポンプ訓練についてでございます。これは、可搬式の排水ポンプを使い、市の職員がその操作訓練を行おうとするものでございます。この訓練につきましては、総務部くらし安全課の主催でございますが、先般の議会で議決をいただき、現在工場製作をしております可搬式の排水ポンプユニットと同型のものを使っての訓練ということで、当委員会の皆様にもお知らせをさせていただきます。日時につきましては、7月19日月曜日の午前10時からということでございまして、場所につきましては、本日午前中の視察時に車内から見ていただきました、赤磐市福田にあります福田排水機場で行います。ぜひともお越しいただければと思っておりますので、よろしく願います。

なお、現地は駐車スペースが少ないため、お越しの際は大変お手数でございますが、付近に

あります吉井浄化センター、こちらのほうに駐車をしていただきますようお願いいたします。

上下水道課からの説明は以上です。

○委員長（金谷文則君） 続いてお願いいたします。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 小坂地域整備推進室長。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（小坂憲広君） 続きまして、地域整備推進室の関係でございます。

表紙の一番下にあります、第3回赤磐市立地適正化計画策定等検討協議会、こちらのほうを令和3年8月18日の水曜日午後1時から開催する予定といたしております。場所につきましては、赤磐市役所の会議室のほうで行うように予定しております。また、結果等につきましては、御報告のほうをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

今のその他につきましての質疑等ございますでしょうか。

ありませんかね。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 建設課の物損事故の御報告をいただきましたが、事故状況を御説明いただく際に、枝の落下に気づかず通過しということなんです、これ。現在原因を調査中とのことですから、今後事故割合がどうなるのかというのはこの次の話なんだろうなと思うんですけど、落下に気づかずということは前方不注意なんじゃないかなあというふうに思うんです。常に道路管理者というところの中で、何かうちのほうが怠って事故が起こり、穴にタイヤをはめてとか、バンパーが接触してとかそういうふうに言われて、いつもいつもうちのほうが保険対応するというような形を取ってますけども、前方不注意みたいなものはどんなお話になるのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今回の事故につきましては、午後7時頃ということで、暗くなりかけている時期ということで、気づかなかったという報告を受けておりますが、そういう状況も含めて、今調査をしております、過失割合等を調査しておりますので、今この場で割合について臆測できないので、すいません、申し訳ありません。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

○委員（佐々木雄司君） 結構です。

○委員長（金谷文則君） 他にございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようです。

では、質疑はこれでよろしいでしょうかね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） これで質疑は、じゃあ終わりたいと思います。

次に、今朝視察に行きましたけども、その中で何かお気づきの点とか、それから今回視察をしておりますので、委員会での報告というものをしなきゃいけません。個々の皆さん方をお願いをするよりも、委員長のほうで取りまとめさせていただければと思いますが、そういうことでよろしいでしょうか。何かお気づきになって、こういうことをまとめてほしいとか、意見を入れてほしいということがございましたら、委員の皆さん方、何かありましたらどうぞお願いいたします。

よろしいですか、今日見た中で、じゃあまとめさせていただくということで。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） では、そのようにさせていただきます。

それでは、委員の方から何かございますか。

○副委員長（治徳義明君） はい。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） 1点、空き家対策についてちょっとお伺いしたいんですけれども、赤磐市も赤磐市の空き家率が10%を超えるような中、平成30年に市独自の条例を制定したり、補助金制度をつくったり、いろいろ様々な取組を行っているんですけれども、その中の空き家情報バンクの活用についてお伺いしたいんです。空き家情報バンクの充実も赤磐市は図っておりまして、情報バンクを活用すると、改修費の補助金であるとか、仲介手数料の補助金、また所管が違うんですけれども、家屋に残る家具の撤去費用を補助する制度を新たに設けるなど、積極的に進められているんですけれども、しかしながらうまく活用できていないんじゃないかというような御指摘があります。

それは何かといいますと、山陽新聞社が、6月28日に、山陽団地の活性化構想から3年と題して、山陽団地の活性化に向けた課題を指摘をされております。これは、恐らく職員さんも見られたと思うんですけれども、その中で山陽団地の空洞化、つまり空き家対策についても指摘をされていて、こういうふうに書かれてるんですね。増加する空き家の再生も低調であると、家主と入居希望者を仲介する市の空き家情報バンクの登録者数は、この3年間で山陽団地では僅か4軒であると、こういうふうには指摘をされて、空き家の活用は見通しが立っておらず、再生の道のは険しいと、こういうふうには厳しく御指摘もされているところであります。

そこでお伺いしたいんですけれども、山陽団地の空き家数及び現在の情報バンクの登録者数を

まず教えてください。

○委員長（金谷文則君） 内容は分かりますか。

答弁をお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 治徳委員の御質問ですけれども、ちょっと古いデータになりますけれども、平成28年度の調査結果となりますが、山陽団地内の空き家の数は85戸存在しております。現在、その中で空き家バンクに登録されている件数は、現在のところ1戸となっております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） 要は、空き家が85戸で、1軒ということで、低いということにはなるんだろうと思うんですけども、情報バンクを活用したら、先ほど申しましたように、仲介手数料や改修費の補助金制度などを、利用者については大きなメリットがあると思うんですけども、何で情報バンクの活用が低調なのか、理由、及び調査や分析をなさってるのかどうか、ちょっとその辺を確認させてください。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 平成28年度に、これも実施した、これアンケート調査になりますけれども、85戸の空き家のうち、29戸から回答を得ております。その中で、29の6割の17戸の方から、空き家バンクのことを知らないという回答がありました。当時は周知のほうに徹底されていなかった可能性があります。現在は広報あかいわへの掲載、固定資産税納税通知書へのチラシの同封、空き家相談会の実施により、周知は図られているのではないかと考えております。

空き家バンクの登録数が伸びない原因の一つとして、今家財が残っているために登録をちゅうちょしている方もいるのではないかと考えておりまして、先ほど委員も言われましたように、家財撤去の補助を新設しまして、空き家の所有者の方の負担を少しでも軽減して、空き家バンクへの登録を促進する取組を進めております。また、空き家の活用について、恐らくどこに相談していいのかわからないという方も多くいらっしゃるのではないかと思いますので、直接できる機会でありまして空き家相談会の実施が効果的ではないかと考えておりまして、昨年度はコロナ禍で実施できませんでしたが、今年はコロナの状況を見ながら空き家の相談会をさせていただきたいと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

○副委員長（治徳義明君） よろしいです。

○委員長（金谷文則君） 他にございますでしょうか。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） それでは、お手元に総合政策部政策推進課からの事業進捗状況ということで、資料が1枚物ですがあると思います。御確認ください。

赤磐市過疎地域持続的発展計画の素案に対するパブリックコメントにつきまして、総合政策部から報告をさせていただきます。

令和3年4月1日に、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されたことに伴い、赤磐市過疎地域持続的発展計画を作成するため素案を取りまとめたところでございます。なお、今回の法改正により、旧吉井町地域に加えまして、旧赤坂町地域が過疎地域に指定されております。この素案につきまして、市民の皆様から広く御意見をお伺いし、計画作成の参考とさせていただくために、7月5日月曜日から7月19日月曜日の期間でパブリックコメントを実施しておりますので、改めてお知らせさせていただくとともに、その実施状況についてお知らせいたします。

7月13日現在、7件の御意見が出ております。議員の皆様方におかれましても、7月19日までに御意見等ございましたら、よろしく願いいたします。

今後の予定でございますが、意見募集締切り後には、御意見に対する市の考え方を内容ごとに整理、分類した上で、後日公表することとしております。内容につきましては、改めて御報告させていただきたいと考えております。その後、県協議を経まして、9月議会に上程をさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上、総合政策部からの報告でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

では、ほかにはもうよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、ないようでございますので、以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会といたします。

本日は大変御苦勞さまでございました。

午後1時43分 閉会